

御案内

本会第一一九回大会を次のように開きます。ふるつて御参加下さい。

記

- 一期日 二〇二一年一月三日(土)・一日(日)
- 一 場所 東京大学(本郷) ※ウェブ会議システムとの併用開催です。
- 一 参加費 一般一〇〇〇円 学生(大学院生含む)五〇〇円
※会員、非会員の別はありません。要事前申込。
- 一 第八回史学会賞授賞式 法文二号館一番大教室(一月三日 午後一時)
- 一 公開シンポジウム「世界主義の諸様相」
——コスモポリタニズム・アジア主義・国際主義——
法文二号館一番大教室(一月三日 午後一時)

司会・趣旨説明

勝田 俊輔

報告

普遍君主政の超克

——一八世紀ヨーロッパにおけるコスモポリタニズム——

川出 良枝

アジア主義——その可能性と問題——

中島 岳志

静かなラディカリズム

——二〇世紀初頭ロシアのムスリム社会の場合——

長縄 宣博

多分野における国際主義を取り込んだ国際連盟

——その活動と問題点——

後藤 春美

討論

一部会 (二月一四日) ——詳細は別紙を参照——

日本史部会

古代史部会 法文二号館一番大教室 研究発表 午前一〇時

中世史部会 法文二号館一番大教室 研究発表 午後一時

近世史部会 法文二号館一番大教室 研究発表 午後三時

近現代史部会 法文二号館二番大教室 研究発表 午後一時

東洋史部会 国際学術総合研究棟三番大教室 研究発表 午前一〇時

西洋史部会 法文一号館一三番教室 研究発表 午前二〇時

二〇二二年九月二〇日

公益財団法人

史学會

各位

部会プログラム

日本史部会

古代史部会 法文二号館一番大教室

研究発表(午前一〇時〜一二時)

- 1 日本学令と礼制継受
- 2 東アジアのなかの蝦夷——唐・日本と蝦夷の関係をめぐって——
- 3 浄御原考仕令と持統四年詔の意義
- 4 撰関・院政期の六位官史・外記の編成と変容

中世史部会 法文二号館一番大教室

研究発表(午後一時〜二時三〇分)

- 1 鎌倉期における女院領の領有——「御願寺領」保全の展開——
- 2 応永期における高野山連署衆の成立と荘園支配
- 3 歴博甲本「洛中洛外図屏風」に描かれた犬馬場

近世史部会 法文二号館一番大教室

研究発表(午後三時〜四時三〇分)

- 1 近世中期堂上公家の絶家と再興——名家北小路家の事例から——
- 2 元禄期における中国善書の受容と影響
——藤井懶斎著「大和為善録」を中心に——
- 3 幕府の対ロシア政策とオランダ商館——ロシア南下の再発見を題材に——

近現代史部会 法文二号館一番大教室

研究発表(午後一時〜五時三〇分)

- 1 慶応三年における薩長軍事構想——王政復古政変前後の比較検討——
下田 悠真
- 2 世紀転換期における「神道史」叙述と「事実」認識
木村悠之介
- 3 「国民の党」構想の全国的伸張
渡部 亮
- 4 「満洲国」における政治と民意——協和会全国連合協議会を中心に——
趙 顛
- 5 太平洋戦争期における日本の戦時海運政策の成立と展開
梶尾 良太
- 6 戦後の再軍備過程と警察制度
太田聡一郎

東洋史部会 国際学術総合研究棟三番大教室

研究発表(午前一〇時〜一二時)

- 1 出土史料からみる秦漢時代の亭
- 2 一〇世紀前半における政略結婚から見た政権間の関係
莊 卓燐
- 3 士大夫の書いたものから宋代の茶文化を見る
劉 揚
- 4 南宋四川制置使、宣撫使研究——中央と地方の評価を手がかりとして——
王 世楨
- 5 大元ウルス中葉期におけるモンゴル高原向け重糧調達方策の運用実態
劉 藍蔚
- 6 スーラト海上貿易商人とムガル朝政治権力、一六四〇—一六六〇年
伊藤 崇展
- 7 オランダ東インド会社の通航証発給をめぐる問題を中心に——
嘉藤 慎作
- 8 伊梨通商条約(一八五一年)の締結交渉過程における突山の役割
楊 曠
- 9 日清戦争と中国のジャーナリズム
殷 曠
- 10 アルペール・ナツカーシユの産業振興論とフランス委任統治下の新国家レバノン
田中 雅人

研究発表(午後一時〜三時三〇分)

- 1 ユリウス・クラウディウス朝期におけるガルマティア属州統治
蔡 男
- 2 後期共和政ローマの高位公職者選挙について
十川 雅浩
- 3 ビザンツ帝国教会改革期のコムネノス知識人
草生 久嗣
- 4 ヴォルガからドヴィナへ
伊丹聡一郎
- 5 一八四〇年代の英国における「財政」外交ジレンマ」の緩和
板倉 孝信
- 6 実物資料と現存技術に基づく「一七—一九世紀西ヨーロッパのレース製造における「デザイン」を巡る試論」
角田 奈歩
- 7 二重君主国期オーストリアにおける一九二二年イスラーム教法の成立過程
奥田 弦希
- 8 ロイド・ジョージの「社会改革」戦略
梅田 建人

西洋史部会 法文一号館一三番教室

研究発表(午前一〇時〜一二時)

- 1 ユリウス・クラウディウス朝期におけるガルマティア属州統治
- 2 後期共和政ローマの高位公職者選挙について
- 3 ビザンツ帝国教会改革期のコムネノス知識人
- 4 ヴォルガからドヴィナへ
- 5 一八四〇年代の英国における「財政」外交ジレンマ」の緩和
- 6 実物資料と現存技術に基づく「一七—一九世紀西ヨーロッパのレース製造における「デザイン」を巡る試論」
- 7 二重君主国期オーストリアにおける一九二二年イスラーム教法の成立過程
- 8 ロイド・ジョージの「社会改革」戦略

- 1 ユリウス・クラウディウス朝期におけるガルマティア属州統治
- 2 後期共和政ローマの高位公職者選挙について
- 3 ビザンツ帝国教会改革期のコムネノス知識人
- 4 ヴォルガからドヴィナへ
- 5 一八四〇年代の英国における「財政」外交ジレンマ」の緩和
- 6 実物資料と現存技術に基づく「一七—一九世紀西ヨーロッパのレース製造における「デザイン」を巡る試論」
- 7 二重君主国期オーストリアにおける一九二二年イスラーム教法の成立過程
- 8 ロイド・ジョージの「社会改革」戦略